

標 題 : The role of Mediterranean diet on the risk of pancreatic cancer
膵臓癌のリスクに対する地中海食事の役割

著 者 : C. Bosetti, et al. (イタリア IRCCS-Istituto di Ricerche Farmacologiche
'Mario Negri' 疫学部)

掲 載 誌 : Br. J. Cancer 109: 1360-1366 (2013)

要 旨 :

背 景 : 地中海食事は各種の腫瘍に対して有益な役割を果たすと示されてきたが、膵臓癌に関してデータは少ない。

方 法 : イタリアで1983年から2008年の間に実施された、膵臓癌の症例362人と病院-対照の1552人および膵臓癌の症例326人と病院-対照の652人による2件の症例-対照研究からのデータを、我々は解析した。

地中海食事の主な特徴を集約する地中海食事スコア(MDS)を、2件の研究別および全体で使用した。

地中海食事順守に関する追加の2つのスコア、地中海食事パターン順守指数(MDP)および地中海妥当性指数(MAI)を2番目の研究にだけ適用した。

結 果 : スコア値の上昇(つまり順守の強化)によるオッズ比(OR)を、多重ロジスティック回帰モデルを用いて推計した。

地中海食事スコア(MDS)の ≥ 6 と < 3 を比較したオッズ比は、1番目の研究で0.57(95%信頼区間(CI)0.34-0.95)、2番目の研究では0.51(95%CI 0.29-0.92)、そして全体で0.48(95%CI 0.35-0.67)であった。

リスク低下の傾向はMDPおよびMAIでも観察され、5段階での最高と最低とのオッズ比はMDPで0.44(95%CI 0.27-0.73)そしてMAIでは0.68(95%CI 0.42-1.11)であった。

年齢、性別、教育、BMI、飲酒、喫煙および糖尿病の全ての階層で、結果は一致した。

結 論 : 地中海食事の順守を測定するために事前に定義したスコアは膵臓癌のリスクと良い関連をすることの証拠を、我々の研究が提示する。

キーワード : 症例-対照、地中海食事、膵臓癌、危険因子
